

background-color プロパティ

background-color

背景の色を指定する

書き方

セレクタ { background-color: ①; }

値の指定

①カラー値 ※初期値: transparent (透明)

適用される要素

すべて

継承

なし

すべての要素は初期値として transparent (透明) となっています。初めに背景が白色になっているのは、ブラウザの設定色になりますので、必ず白色になるとは限りません。背景が白色の場合は、body 要素の背景色を白色に設定するようしましょう。

サンプル

```
<body>
  <h1>アクセシビリティの考慮</h1>
  <p>
    背景色とその上に配置されたテキストの色のコントラスト比が、弱視の人がページのコンテンツを読むことができる程度の高さであることを確認することが重要です。
  </p>
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
body {
  background-color: #fefefe;
  color: #111;
}
h1 {
  background-color: #333;
  color: #fff;
}
```



background-image プロパティ

background-image

背景の画像を指定する

書き方

```
セレクタ { background-image: url(①), url(②), ... }
```

値の指定

①背景画像のパス `none` (背景画像なし)

適用される要素

すべて

継承

なし

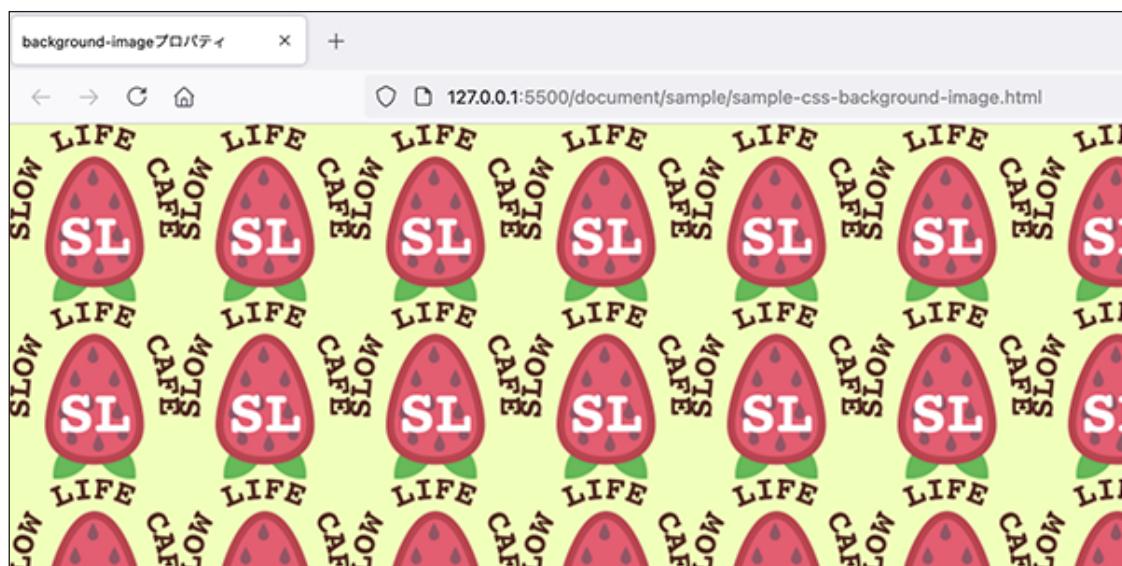
1つ以上の背景画像を指定することができます。2つ目以降の背景画像は、「 , 」(カンマ) 区切りで指定します。

背景画像は、お互いの上に積み重ねるコンテキストレイヤーに描画され、最初に指定された背景画像が、最も手前にあるかのように描画されます。

サンプル

```
<body>
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
body {
  background-color: #f0ffba;
  background-image: url(..../images/sample-bk-01.png);
}
```



background-repeat プロパティ

background-repeat

背景画像の繰り返し方法（並べ方）を指定する

書き方

セレクタ { background-repeat: ①; }

値の指定

①repeat (初期値) repeat-x repeat-y no-repeat

適用される要素

すべて

継承

なし

background-repeatは、背景画像の表示をどのように繰り返すかを指定します。背景画像の繰り返しには、横方向、縦方向、繰り返さないなどがあります。

キーワード

| キーワード | 説明 |
|-----------|----------------------|
| repeat | 背景画像を横方向、縦方向へ繰り返します。 |
| repeat-x | 背景画像を横方向のみ繰り返します。 |
| repeat-y | 背景画像を縦方向のみ繰り返します。 |
| no-repeat | 背景画像を繰り返しません。 |

サンプル

```
<body>
```

```
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
body {
  background-color: #f0ffba;
  background-image: url(..../images/sample-bk-01.png);
  background-repeat: repeat-x;
}
```



MDN Web Docs : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS/background-repeat>

background-position プロパティ

background-position

背景画像の配置位置を指定する

書き方

セレクタ { background-position: ① ② }

値の指定

①横位置のキーワード 単位付き数値、% ②縦位置のキーワード 単位付き数値、%

適用される要素

すべて

継承

なし

background-position は、背景画像を表示する横と縦位置を指定します。表示位置の指定は、1つまたは、半角スペース区切りで2つ、もしくはキーワードと距離の組み合わせで、最大4つまで指定することができます。

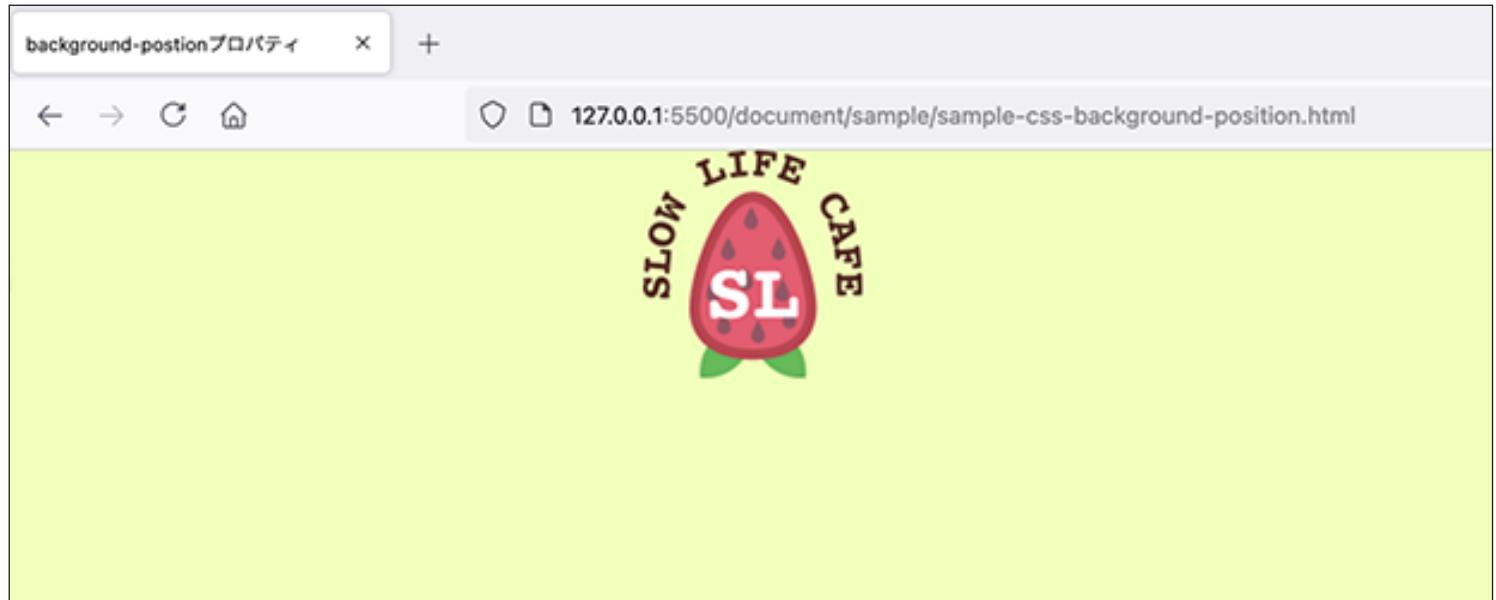
キーワード

| 位置 | キーワード | パーセント |
|-----|------------|-------|
| 横位置 | left (初期値) | 0% |
| | center | 50% |
| | right | 100% |
| 縦位置 | top (初期値) | 0% |
| | center | 50% |
| | bottom | 100% |

サンプル

```
<body>  
/</body>
```

```
@charset "UTF-8";  
body {  
  background-color: #f0ffba;  
  background-image: url(..../images/sample-bk-01.png);  
  background-repeat: no-repeat;  
  background-position: center top;  
}
```



MDN Web Docs : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS/background-position>

background-attachment プロパティ

background-attachment

背景画像の固定表示を指定する

書き方

セレクタ { background-attachment: ①; }

値の指定

①scroll (初期値) fixed

適用される要素

すべて

継承

なし

background-attachment は、背景画像の表示位置を固定するか、包含ブロックと一緒にスクロールするかを指定します。

サンプル

```
<body>  
/</body>
```

```
@charset "UTF-8";  
body {  
height: 500vh;  
background-color: #f0ffba;  
background-image: url(..../images/sample-bk-01.png);  
background-repeat: no-repeat;  
background-position: 95% 95%;  
background-attachment: fixed;  
}
```



background-attachment プロパティ

background-size

背景画像の表示サイズを指定する

書き方

セレクタ { background-size: ①; }

値の指定

①cover contain auto (初期値) 単位付き数値または %

適用される要素

すべて

継承

なし

background-size は、背景画像の表示サイズを指定します。

単位付き数値やパーセントで、半角スペース区切りで幅と高さを個別で指定することもできます。1つだけ指定した場合は、2つ目の値は auto になります。

パーセントで指定した場合は、背景画像を表示する要素の大きさの割合になります。

キーワード

| キーワード | 説明 |
|---------|--|
| auto | 背景画像のサイズが自動調整されます。(画像の原寸大) |
| contain | 背景画像の縦横比を保ったまま、領域に収まる最大サイズに調整されます。 (長辺を基準によるサイズ調整) |
| cover | 背景画像の縦横比を保ったまま、領域をすべてカバーするサイズに調整されます。 (短辺を基準によるサイズ調整) |

サンプル

```
<body>  
  </body>
```

```
@charset "UTF-8";  
body {  
  height: 100vh;  
  background-color: #f0ffba;  
  background-image: url(../images/sample-bk-01.png);  
  background-repeat: no-repeat;  
  background-position: center;  
  background-size: contain;  
}
```



```
@charset "UTF-8";
body {
  height: 100vh;
  background-color: #f0ffba;
  background-image: url(..../images/sample-bk-01.png);
  background-repeat: no-repeat;
  background-position: center;
  background-size: cover;
}
```



background プロパティ

background

背景関連を一括指定する

書き方

セレクタ { background: ① ② ③ ④/⑤ ⑥ }

値の指定

①color ②image ③repeat ④position ⑤size ⑥attachment ※ 任意は自由

適用される要素

すべて

継承

なし

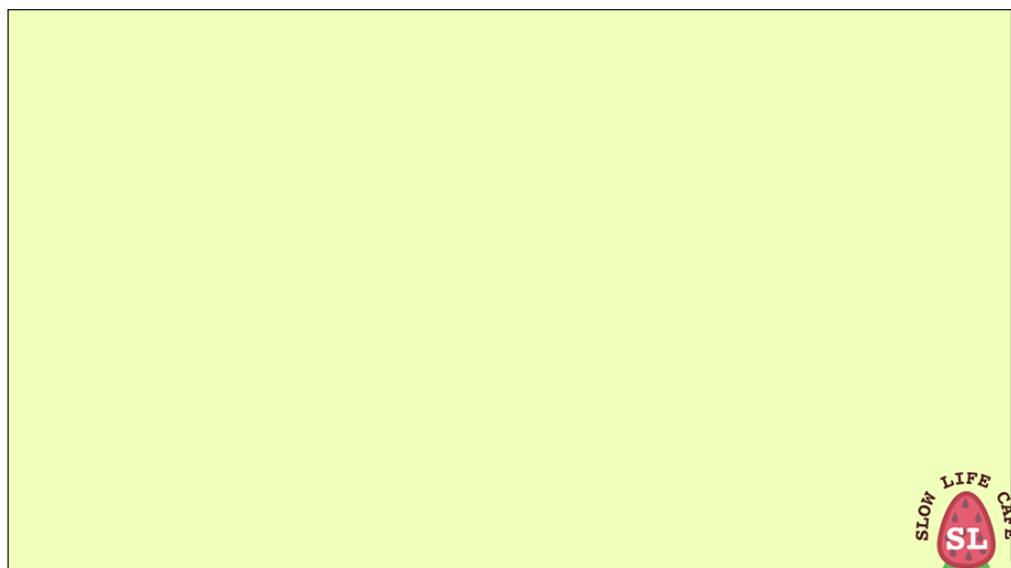
背景の各プロパティを一括で指定することができます。各プロパティの指定する順序は自由ですが、size だけ position のあとに「 / 」(スラッシュ) で区切って指定する必要があります。

一括指定の際に設定を省略したプロパティは、初期値が設定されます。

サンプル

```
<body>  
  </body>
```

```
@charset "UTF-8";  
body {  
  height: 100vh;  
  background: #f0ffba url(..../images/sample-bk-01.png) right bottom no-repeat fixed;  
}
```



margin プロパティ

margin

ボックスのマージン（外余白）を指定する

書き方

```
セレクタ { margin: ① ② ③ ④ }
```

値の指定

①top ②right ③bottom ④left の単位付き数値または、%

適用される要素

テーブル内部の要素以外すべて

継承

なし

margin は、ボックスの外側の余白を指定するプロパティになります。

margin には各箇所の外余白を個別に指定する方法と、複数の箇所を一括で指定する方法があります。

個別指定

外余白を設定する箇所を個別に指定する場合は、margin-top プロパティのように margin の後に「-」(ハイフン) で区切って、外余白を設定したい箇所 (top, right, bottom, left のいずれか) を続けて記載します。

| プロパティ | 説明 |
|---------------|--------------------|
| margin-top | ボックスの上辺の外余白を指定します。 |
| margin-right | ボックスの右辺の外余白を指定します。 |
| margin-bottom | ボックスの下辺の外余白を指定します。 |
| margin-left | ボックスの左辺の外余白を指定します。 |

一括指定

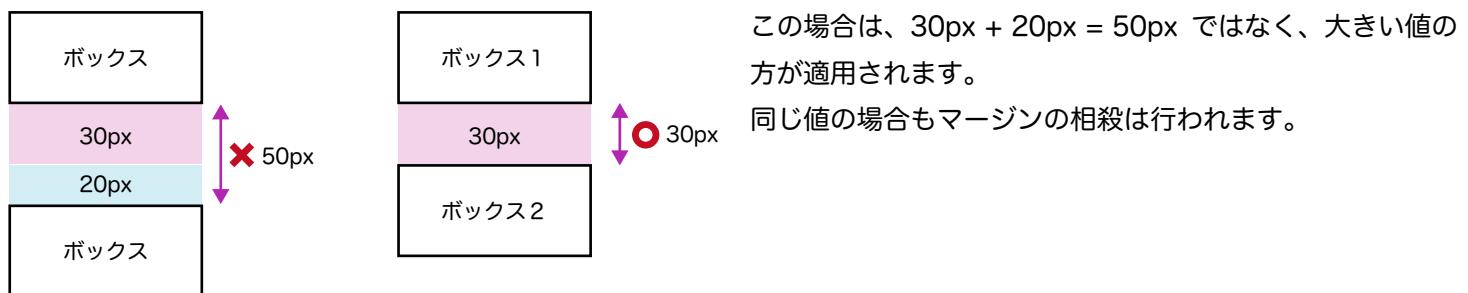
外余白をまとめて指定する場合は、margin プロパティに余白の値を半角スペースで区切って、4つまで値を指定することができます。

指定す方法には、4パターンの指定方法が用意されており、値の個数によって外余白が設定される箇所が変わります。

| 値の個数 | 説明 |
|-----------------|------------------------------------|
| margin: ① | ①すべての辺（上辺、右辺、下辺、左辺）に同じ値が適用されます。 |
| margin: ① ② | ①上辺と下辺 ②右辺と左辺に値が適用されます。 |
| margin: ① ② ③ | ①上辺 ②右辺と左辺 ③下辺に値が適用されます。 |
| margin: ① ② ③ ④ | ①上辺 ②右辺 ③下辺 ④左辺に値が適用されます。 ※上から時計回り |

マージンの相殺

隣接するボックスの同じ方向のマージン（外余白）は相殺され、大きい方の値が適用されます。



MDN Web Docs : https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS/CSS_Box_Model/Mastering_margin_collapsing

サンプル

```
<body>
<p class="box1">マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。</p>
<p class="box2">マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。</p>

<p class="box3">上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。</p>
<p class="box4">上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。</p>
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
* { margin: 0; padding: 0; }
.box1 {
  background: tomato;
  margin-left: 30px;
}
.box2 {
  background: skyblue;
  margin: 20px;
}
.box3 {
  background: springgreen;
  margin-top: 15px;
  margin-bottom: 40px;
}
.box4 {
  background: khaki;
  margin: 20px 60px;
}
```

マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。

マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。

上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。

上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。

padding プロパティ

padding

ボックスのパディング（内余白）を指定する

書き方

セレクタ { padding: ① ② ③ ④ }

値の指定

①top ②right ③bottom ④left の単位付き数値または、%

適用される要素

すべて

継承

なし

padding は、ボックスの内側の余白を指定するプロパティになります。

padding には各箇所の内余白を個別に指定する方法と、複数の箇所を一括で指定する方法があります。

マージンとパディングは、余白が外側と内側の違いはありますが、指定方法のルールは同じになります。

個別指定

内余白を設定する箇所を個別に指定する場合は、padding-top プロパティのように padding の後ろに「 - 」（ハイフン）で区切って、内余白を設定したい箇所（top, right, bottom, left のいずれか）を続けて記載します。

| プロパティ | 説明 |
|----------------|--------------------|
| padding-top | ボックスの上辺の内余白を指定します。 |
| padding-right | ボックスの右辺の内余白を指定します。 |
| padding-bottom | ボックスの下辺の内余白を指定します。 |
| padding-left | ボックスの左辺の内余白を指定します。 |

一括指定

外余白をまとめて指定する場合は、margin プロパティに余白の値を半角スペースで区切って、4つまで値を指定することができます。

指定す方法には、4パターンの指定方法が用意されており、値の個数によって外余白が設定される箇所が変わります。

| 値の個数 | 説明 |
|------------------|------------------------------------|
| padding: ① | ①すべての辺（上辺、右辺、下辺、左辺）に同じ値が適用されます。 |
| padding: ① ② | ①上辺と下辺 ②右辺と左辺に値が適用されます。 |
| padding: ① ② ③ | ①上辺 ②右辺と左辺 ③下辺に値が適用されます。 |
| padding: ① ② ③ ④ | ①上辺 ②右辺 ③下辺 ④左辺に値が適用されます。 ※上から時計回り |

サンプル

```
<body>
<p class="box1">マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。</p>
<p class="box2">マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。</p>

<p class="box3">上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。</p>
<p class="box4">上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。</p>
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
* { margin: 0; padding: 0; }
.box1 {
  background: tomato;
  margin-left: 30px;
}
.box2 {
  background: skyblue;
  margin: 20px;
}
.box3 {
  background: springgreen;
  margin-top: 15px;
  margin-bottom: 40px;
}
.box4 {
  background: khaki;
  margin: 20px 60px;
}
```

マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。

マージンは、ボックスの外余白を指定するプロパティになります。

上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。

上下に隣接するボックスの上下のマージンはマージンの相殺で、大きい方の値が適用されます。

padding プロパティ

padding

ボックスのパディング（内余白）を指定する

書き方

セレクタ { padding: ① ② ③ ④ }

値の指定

①top ②right ③bottom ④left の単位付き数値または、%

適用される要素

すべて

継承

なし

padding は、ボックスの内側の余白を指定するプロパティになります。

padding には各箇所の内余白を個別に指定する方法と、複数の箇所を一括で指定する方法があります。

マージンとパディングは、余白が外側と内側の違いはありますが、指定方法のルールは同じになります。

個別指定

内余白を設定する箇所を個別に指定する場合は、padding-top プロパティのように padding の後ろに「 - 」（ハイフン）で区切って、内余白を設定したい箇所（top, right, bottom, left のいずれか）を続けて記載します。

| プロパティ | 説明 |
|----------------|--------------------|
| padding-top | ボックスの上辺の内余白を指定します。 |
| padding-right | ボックスの右辺の内余白を指定します。 |
| padding-bottom | ボックスの下辺の内余白を指定します。 |
| padding-left | ボックスの左辺の内余白を指定します。 |

一括指定

外余白をまとめて指定する場合は、margin プロパティに余白の値を半角スペースで区切って、4つまで値を指定することができます。

指定す方法には、4パターンの指定方法が用意されており、値の個数によって外余白が設定される箇所が変わります。

| 値の個数 | 説明 |
|------------------|------------------------------------|
| padding: ① | ①すべての辺（上辺、右辺、下辺、左辺）に同じ値が適用されます。 |
| padding: ① ② | ①上辺と下辺 ②右辺と左辺に値が適用されます。 |
| padding: ① ② ③ | ①上辺 ②右辺と左辺 ③下辺に値が適用されます。 |
| padding: ① ② ③ ④ | ①上辺 ②右辺 ③下辺 ④左辺に値が適用されます。 ※上から時計回り |

サンプル

```
<body>
<p class="box1">パディングは、ボックスの内余白を指定するプロパティになります。</p>
<p class="box2">パディングは、ボックスの内余白を指定するプロパティになります。</p>

<div class="box-wrap">
  <p class="box3">パディング</p>
</div>
</body>
```

```
@charset "UTF-8";
* { margin: 0; padding: 0; }
.box1 {
  background: tomato;
  padding-left: 12px;
}
.box2 {
  background: skyblue;
  padding: 20px;
}
.box-wrap {
  background: springgreen;
  padding: 5px 16px;
}
.box3 {
  background: khaki;
}
```

The screenshot shows a browser window with the title 'padding プロパティ'. The address bar indicates the URL is 127.0.0.1:5500/document/sample/sample-css-padding.htm. The page content consists of three paragraphs with the following text:
パディングは、ボックスの内余白を指定するプロパティになります。
パディングは、ボックスの内余白を指定するプロパティになります。
パディング
The third paragraph is highlighted with a green border. The browser's developer tools interface is visible at the top, showing the element tree and various inspection tools.

border プロパティ

border

ボックスの境界線を指定する

書き方

```
セレクタ { border: ① ② ③ }
```

値の指定

①size (太さ) ②type (線種) ③color (線色) ※ 順番は自由

適用される要素

すべて

継承

なし

border は、ボックスの境界線を指定するプロパティになります。

border には各箇所の境界線を個別に指定する方法と、ボックスの4辺を一括で指定する方法があります。

プロパティの値

境界線には、線の太さ、種類、色の3つを指定します。線の太さは、単位付きの数値または%で指定します。先の種類は、キーワードで指定します。線の色は、色コードまたは色名で指定します。

| 線種キーワード | 説明 | 線種キーワード | 説明 |
|---------|--------|---------|-------|
| none | 線の表示なし | dotted | 点線 |
| solid | 実線 | double | 2重線 |
| dashed | 破線 | groove | 立体的な線 |

個別指定

内余白を設定する箇所を個別に指定する場合は、padding-top プロパティのように padding の後ろに「-」(ハイフン)で区切って、内余白を設定したい箇所 (top, right, bottom, left のいずれか) を続けて記載します。

| プロパティ | 説明 |
|---------------|--------------------|
| border-top | ボックスの上辺の境界線を指定します。 |
| border-right | ボックスの右辺の境界線を指定します。 |
| border-bottom | ボックスの下辺の境界線を指定します。 |
| border-left | ボックスの左辺の境界線を指定します。 |

一括指定

境界線をまとめて指定する場合は、border プロパティに半角スペース区切りで、線の太さ、種類、色を指定します。それぞれの指定順序は決まっていません。

| 値の個数 | 説明 |
|--------|-----------------------------------|
| border | すべての辺（上辺、右辺、下辺、左辺）の境界線に同じ値を適用します。 |

サンプル

```
<h1>境界線の描画</h1>
<div class="content">
  <p>borderプロパティを使うことで、ボックスの境界線の表示方法を指定することができます。</p>
</div>
```

```
@charset "UTF-8";
h1 {
  padding-left: 12px;
  border-left: 6px solid tomato;
}
.content {
  padding: 15px 20px;
  border: 1px dotted #333;
}
```

